

色鮮やかな夏色の蓼科高原。
避暑地での本格的コース。

2012年7月14日(土) 長野県蓼科高原
第30回長野県オリエンテーリング大会

MA - 5km ↑260m

- | | | |
|--------|---------|-------|
| 1 谷川友太 | 0:44:53 | 片塾 |
| 2 松井健哉 | 0:45:01 | 片塾 |
| 3 菅谷裕志 | 0:51:11 | PAL's |

M40 - 3.5km ↑195m

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 小林岳人 | 0:39:44 | ES 関東 C |
| 2 小泉辰喜 | 0:44:31 | 東京 OLC |
| 3 山本賀彦 | 0:45:35 | Ski-O |

WA - 3.5km ↑195m

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1 増田実穂 | 0:57:53 | 実践女子大学 |
| 2 太田夏美 | 0:58:35 | 鳩の会 |
| 3 村上 | 1:01:13 | 東京農工大学 |

MB - 2.5km ↑150m

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 長谷川誠二 | 0:40:19 | |
| 2 土屋 武 | 0:43:07 | 愛知 OLC |
| 3 武井 | 0:50:10 | 東京農工大学 |

WB - 2.5km ↑150m

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 山本陽子 | 0:54:58 | ES 関東 C |
| 2 鈴木さち | 0:57:56 | 東京農工大学 |
| 3 高田奈緒 | 1:06:38 | 東京医科歯科 |

GL - 3km

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1 和田組 | 1:15:26 | |
| 2 丸山組 | 1:19:51 | みつけ OLC |

GS - 2km

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1 笛木組 | 0:56:01 | 西蒲 OLC |
| 2 伊藤組 | 1:26:05 | ES 関東 C |

2012年7月16日(海) 長野県蓼科高原
蓼科・北八ヶ岳ロゲイニング 2012

家族

- | | |
|-------------|--------|
| 1 ハムちゃん | 1002 点 |
| 2 読図戦隊ゆうぼんず | 586 点 |
| 3 カルオリ | -727 点 |

混合シニア

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 ゆきづまったり、くまったり... | 1067 点 |
| 2 静岡 OLC 自転車競技部 | 683 点 |

混合

- | | |
|----------------|--------|
| 1 アコピーズ | 1130 点 |
| 2 軽井沢ロゲイニング倶楽部 | 1066 点 |
| 3 チョコしるべ | 1033 点 |

男子

- | | |
|----------------|-------|
| 1 Team★uhouho1 | 404 点 |
|----------------|-------|

避暑と高地トレーニング

梅雨明け間近。日本中で猛暑日を記録する中、標高 1800m の蓼科高原で長野県オリエンテーリング大会が行われた。参加者は約 80 名。家族連れ、学生、ベテラン競技者などさまざまな年齢層が参加し、爽やかな汗を流した。

蓼科高原は森林トレインの 0-map としては日本一の高所となる。避暑と高

地トレーニングが同時にできる環境だ。コースプランは現オリエンテーリング日本代表の松澤俊行。最上位クラスはタフなコースが用意された。



眩しい緑に飛び込んでゆく競技者

梅雨明けの八ヶ岳

今年も 6 時間のロゲイニング競技が行われた。八ヶ岳の山頂域から高原別荘地を含む本格的な山岳ロゲイニング競技である。総じて足場も岩がち。アスリート系というより登山系の競技となった。登山道も多くなく、戦略的には大味であるが八ヶ岳の神秘的な森と風景がこの競技の魅力である。

7:00 に参加者がスタートしたときは、ガスが八ヶ岳を覆っていた。しかし競技中にまさかの梅雨明けとなり天候はみるみる回復。最後は気持ちの良い八ヶ岳を楽しんでもらえた。

山岳ロゲイニングは全員がフィニッシュするまで少し心配。だが参加者全員が満足した笑顔で元気にフィニッシュしてくれた。

公認 PC フル稼働開始

この大会から蓼科高原は夏のプログラムが始まる。蓼科高原の自然学校に設置された公認パーマネントコースも、この大会の後からすべてのコントロールにフラッグが置かれて全て利用可能となった。

蓼科自然学校周囲に設置されたコントロールには、本格的な布フラッグにピンパンチが取り付けられたもの。

このフラッグを使用して、蓼科での林間学校のプログラムを実施する。実際にこの大会が終わってから 1 週間の間に、2 校の林間学校がオリエンテーリングを実施した。



毎年付け替えられるフラッグ
綺麗ないでたちで林間学校を迎える

次は 7 人リレー

蓼科高原に高精度の 0-map が整備されて、今年で 3 年目。今までは主として林間学校や小規模な競技会に使用してきた蓼科高原だが、2 年後にはより大規模なイベントとして 7 人リレーを実施することを計画している。

この素晴らしいトレインをより多くの人に知っていただきたいと思ったからである。

小規模な自然学校の敷地に大人数の参加者が入れるのかという問題があるが、地元茅野市では大歓迎してくれている。

(木村佳司)